PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2025 年 11 月 5 日

和歌山の防災力を世界の未来へ活かす！

～各国のエンジニアが防災インフラを学ぶ～

JICA 関西では、（一財）近畿建設協会のご協力を得て、「インフラ施設（河川・道路・港湾）災害対策とマネジメント」研修を 9 月 12 日から 11 月 28 日まで実施中です。本研修では、開発途上国 10 か国（マレーシア、東ティモール、パキスタン、ヨルダン、トルコ、南アフリカ共和国、モーリシャス、コンゴ民主共和国、南スーダン、ナイジェリア）から、母国のインフラ施設の災害対策に携わるエンジニア 10 名が来日し、関西地域の事例も視察しながら災害対策技術を学びます。

11 月 7 日、10 名のエンジニアは和歌山県を訪れます。同県では、今後 30 年以内に 60-90%以上の確率で発生すると言われる南海トラフ地震から住民の命を救い、死者をゼロにするために、防災分野における最新の取り組みや技術の導入を行っています。研修参加者は、この一環である津波避難タワーや道路の法面（のり面：盛土または切土により人工的に形成された斜面）を活用した避難路などを視察し、日本における地震・津波対策について学びます。また、行政と市民とが連携して防災に取り組む様子を田辺市から共有してもらい、自国での災害対策のヒントを得ます。

以下の日程で取材や研修員へのインタビューが可能ですのでぜひご検討ください。
※当日は日本語⇔英語通訳が同行いたします。

取材可能日程

11/7（金）	10:00～11:40	講義「田辺市の防災対策と危機管理」 場所:田辺市役所 （和歌山県田辺市東山 1 丁目 5-1）
	12:50～13:30	視察「芳養地区津波避難タワー」 場所：芳養地区津波避難タワー （田辺市芳養松原 1 丁目 28－1）
	13:45～14:30	視察「道路の法面を活用した津波災害時の避難路設置」 場所：田辺西バイパス （田辺市芳養町宇佐美地区斜面避難路）

-ご取材いただける場合は事前にご連絡下さい-

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 研修業務課
TEL 078-261-0383